

ナイルの流れに

カイロ日本人学校 Noboru Ozawa



H.27.8.3

No.15

ドイツ・オーストリア旅行④ ～グライナウ～

ミュンヘンから普通列車でオーストリアとの国境に近い**ガルミッシュ・パルテンキルヒェン**に行きました。ここは、**ドイツ最高峰のツークシュピッツェ (2,962m)** へ向かうふもとの町です。随分前になりますが、1936年に冬季オリンピックが開催された町です。冬には多くのスキー客でにぎわいます。**グライナウ**は、ガルミッシュ・パルテンキルヒェン駅からさらに山の中に入った地区になります。

ツークシュピッツェ山頂には、**ロープウェイ**か**登山鉄道**を使って誰でも簡単に登ることができます。切り立った岩山によくロープウェイを架けたなあと感心しました。登山鉄道は、山頂までトンネルの中の急こう配を登っていきます。これもよく山の中に鉄道を敷いたなあと思いました。

アルプスの山々は岩山で、人をひきつけるような、また逆に人を拒むような、何とも言えないきれいな色をしていました。



ツークシュピッツェ展望台からの眺め



ツークシュピッツェ展望台からアイプ湖を望む

ドイツの食べ物と言えば、**ソーセージ**です。右の写真のように、どこでも手軽に食べることができます。素晴らしい景色の前では、より一層おいしく感じました。

山頂から眼下を望めば、**アイプ湖**がきれいに見えました。エジプトのカイロは、建物も風景も茶色ばかりですが、**山々のグレーン、木々の緑、湖の青、色とりどりの花など、色彩の豊かさ**を実感しました。町の喧騒を離れ、心身ともにゆったりとリフレッシュできた一日でした。

